

CPD／行事案内

●部会主催・部会共催行事	
開催 時期	CPD 行事概要 （最終更新日 2015.2.10）
2015 年 3月	<p>「第44回技術士の夕べ」 『意見交換会：部会員の福島支援活動の経験から、住民目線のリスクコミュニケーションを考える』</p> <p>弊部会は設立10周年を迎え、今後10年に向けて「活動方針」を制定し、その柱の一つとして「3.11事故の反省・教訓を風化させない働きかけ」を掲げています。本会合では、これまでの部会員の福島支援活動を総括するとともに、震災直後からの他機関や個人活動等の情報、チェルノブイリの経験を反映した種々の取り組みについて分析し、技術士としての住民目線のリスクコミュニケーションの在り方について意見交換を行います。</p> <p>次第概要 第一部【講演】 講師：伴 信彦 氏（東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部 教授、ICRP（国際放射線防護委員会）第一専門委員会委員、UNSCEAR（原子放射線の影響に関する国連科学委員会）日本代表団アドバイザー、日本保健物理学会 前理事、「暮らしの放射線 Q&amp;A 活動委員会」元委員長） 演題：「放射線をいかに語るか福島事故の経験から」</p> <p>部会員の福島支援活動から報告（福島からの避難者との対話活動、福島県内での活動） 報告者：中田よしみ氏、高橋 一智氏（原子力・放射線部会 幹事）</p> <p>第二部【意見交換】 上記の講演を受けて、『技術士』として実践すべき住民目線のリスクコミュニケーションの在り方について、以下の3つの視点で意見交換を行う。 [1]原子力・放射線に関する専門知を、被災された住民、一般の人々、他分野の技術者に伝えるために、技術士は自らの言動に関して何に気を配り、どのように行動すべきか？ [2]クライシスコミュニケーションのために、平時より、個人として部会として何を準備しておくべきか？ [3]福島の復興のために、技術士は自らをどう位置づけ、どのような活動を行っていくべきか？</p> <p>日時：2015年3月6日（金）18:00～20:00 場所：日本技術士会 葦手第二ビル 5階 AB 会議室 会費：会員 500 円、会員外 1000 円 賛助会員向け無料参加券対象 問い合わせ：亀山 &lt;kameyama.masashi@genanshin.jp&gt; 申込は関連頁に記載の会員向け/一般向け行事予定からお申し込みください。 詳細は後日、同頁に添付いたします。</p>

添付資料

- ・ 第44回技術士の夕べの詳細企画と参考情報(PDF ファイル 380KB)